

2013年度第4回北陸公法判例研究会開催のご案内

北陸公法判例研究会会員の皆様

寒冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記の日程で、本年度4回目となります、第4回北陸公法判例研究会を開催致します。万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：12月22日（日）午後1時30分から

（今回は日曜日の開催とさせていただきますのでご注意ください）

場所：石川四高記念文化交流館 多目的利用室2

—報告内容—

【研究報告】 田口宗右都（金沢大学大学院）

タイトル：「連結納税における税負担の割り振りについて」

参考文献：酒井貴子「連結納税制度における税負担の内部割振りと少数株主の問題—アメリカ法を参考に」税務弘報57巻10号 89-94頁

【研究報告】 西門純平（金沢大学大学院）

タイトル：「ノン・ルフールマン原則（The principal of non-refoulement）の国際慣習法化に関する考察」

【研究報告】 小塚真啓（岡山大学）

タイトル：「税法上の配当概念の意義と課題—戦前から現代までの変遷の検討を中心に—」

参考文献：岡村忠生「法人清算・取得課税におけるインサイド・ベシスとアウトサイド・ベシス」法學論叢 148（5-6），193-282（2002年）
武田昌輔「民商法と課税問題 7」会計 141（3），403-417（1992年）
金子宏「商法改正と税制」旬刊商事法務（1223），27-30（1990年）
竹内昭夫「利益積立金の資本組入れとみなし配当課税の当否」旬刊商事法務（1258），43-50，（1259），30-35（1991年）

連絡先：鶴澤剛（金沢大学）076-264-5381 takeuzw@staff.kanazawa-u.ac.jp